

グローバル保険ネットワークと財務健全性で 安心を提供するリーディング損保の成長戦略

組織名: 三井住友海上火災保険株式会社

業種: 損害保険業

売上高: 正味収入保険料(単体): 1兆6,792億円
正味収入保険料(連結): 3兆712億円
(2025年3月期)

従業員数: 単体: 12,093名 / 連結: 20,521名
(2025年3月31日現在)



重要なビジネス課題

日本の損害保険業界は、金融庁からの業務改善命令を受け、ビジネスモデルの抜本的な見直しを迫られています。十分なサービス提供体制を構築するためには、ITやデジタル技術の活用が不可欠であり、その実現可能性を検証するために信頼できるアドバイザーの存在が重要な課題でした。



Gartnerによるサポート

以下のような領域において、Gartnerのサービスを活用いただいています。

- 日常的な課題や不安に対して、インクワイアリーを通じて意思決定を支援。自社の考え方の妥当性や代替案を確認
- 世界中の経営者が同様の課題にどう対応しているかを把握し、グローバルな視点で戦略を検討
- 社外からの提案や情報を事実確認するためのフィルタとしてGartnerを活用し、意思決定プロセスに組み込む



ビジネス・インパクト

三井住友海上火災保険では、以下の取り組みで成果を挙げられています。

- ビジネスモデル再構築に向けた戦略検討において、先進的な知見を活用し、方向性を明確化
- 意思決定の精度を高め、外部提案の信頼性を検証する仕組みを確立
- グローバルな事例や市場動向を踏まえ、経営判断の納得性を向上

グローバル保険ネットワークと財務健全性で 安心を提供するリーディング損保の成長戦略

組織名: 三井住友海上火災保険株式会社

業種: 損害保険業

売上高: 正味収入保険料(単体): 1兆6,792億円
正味収入保険料(連結): 3兆712億円
(2025年3月期)

従業員数: 単体: 12,093名 / 連結: 20,521名
(2025年3月31日現在)

三井住友海上火災保険は、1918年10月21日に設立された損害保険会社で、MS&ADインシュアランスグループの中核企業として機能しています。東京・神田駿河台に本社を置き、国内では約26,838の代理店網と176の保険金支払センターを展開、海外では41か国・地域に渡る広範なネットワークを有しています。

2025年3月期の単体正味収入保険料は1兆6,792億円、連結では3兆712億円に達し、業界トップクラスの収益基盤を構築しています。また、S&P「A+」、Moody's「A1」をはじめとする高格付けを維持し、財務健全性と信頼性を兼備しています。

損害保険に加えて資産運用、保証業務、確定拠出年金制度の管理など多様な事業を展開し、デジタル化やガバナンス強化を通じて、持続可能な社会の実現と企業価値の最大化を目指しています。

*2026年3月現在



「Gartnerは、私たちが不安に思うことや情報不足を補い、意思決定を支える重要な存在です。

世界中の経営者の考え方を知ることができる点も非常に価値があります」

三井住友海上火災保険株式会社 専務執行役員
グループCDO 本山 智之 氏